

## 第 63 回

# 岩見沢珠算競技大会 兼全道珠算競技大会岩見沢地区予選

## 実施要綱(案)

1. 主催 岩見沢珠算連盟
2. 後援 岩見沢市・岩見沢商工会議所・全珠連道央支部岩見沢地区・  
岩見沢市教育委員会
3. 協賛 朝日新聞社・北海道新聞社・毎日新聞社・プレス空知
4. 日時 令和 7 年 7 月 13 日（日）午前 9 時
5. 会場 岩見沢商工会議所 第 1 会議室
6. 参加規程 岩見沢珠算連盟の会員及び連盟が認めた団体並びに個人。但し、学校対抗  
競技の編成は 1 チーム最高 3 名とし、他校との混成は認めない。  
塾対抗競技は 1 塾 3 名で 1 チームとし、1 塾 3 チーム以内とする。  
参加者は岩見沢地区部門、札幌地区部門のいずれかに所属される。  
学校対抗競技は岩見沢地区部門のみとする。  

岩見沢地区部門	：札幌市外の学校に所属しているもの
札幌地区部門	：札幌市内の学校に所属しているもの
7. 参加区分
  - (1)第 1 部 高校生・中学生
  - (2)第 2 部 小学生（5・6 年生）
  - (3)第 3 部 小学生（4 年生以下）今大会は全道大会地区予選を兼ねる。
8. 参加申込 参加団体及び個人は参加申込書に所要事項を記入の上、参加料を添えて申  
し込むこと。
9. 参加料 会員 1 名につき 700 円、非会員 1 名につき 1,000 円
10. 申込締切 令和 7 年 6 月 13 日（金）必着（期日厳守）
11. 競技規定
  - (1)競技種目 個人総合競技・学校対抗競技・種目別競技・塾対抗競技の 4 種目とする。
  - (2)競技方法
    - (a)個人総合競技 かけ算・わり算・みとり暗算・みとり算
    - (b)学校対抗競技 各部とも最高 3 名を 1 校とし、(a)の個人成績を学校毎に選抜して  
合計する。但し、(a) (b)とも同点の場合、最低点の高い方を上位と  
する。（札幌地区部門を除く）
    - (c)種目別競技 読上暗算・読上算（2 種目）
    - (d)塾対抗競技 かけ算・わり算・みとり算・読上（暗算・算）の 4 種目とし、1  
塾 3 名の選手での総合得点により順位を定める。但し、同点の場  
合は低点の少ない塾を上位とする。
  - (3)競技程度
    - ①第 1～3 部 全国そろばんコンクール問題より出題し、各部門共通とする。

かけ算・わり算	各 60 問（制限時間 5 分）
みとり算	30 問（制限時間 5 分）
みとり暗算	30 問（制限時間 1 分 30 秒）

- ②塾対抗競技 日商 3 級程度までの問題とする。
- かけ算・わり算・  
みとり算 各 10 問（制限時間 2 分）
- 読上暗算 1 桁以上 4 桁以内の加減算（5 問）
- 読上算 3 桁以上 7 桁以内の加減算（5 問）
- (4)入賞及び表彰 入賞者には、賞状及び賞品を授与する。また、優秀選手等には各新聞社賞を授与する。
- (a)個人総合競技 入賞者は原則各部とも岩見沢地区部門 6 名程度、札幌地区部門 1 名程度とする。但し、参加人数に応じて変更となる場合がある。第 1～3 部をとおして岩見沢地区部門の最高得点者には岩見沢市長杯が授与される。
- (b)学校対抗競技 入賞は各部とも上位 3 チームとする。優勝チームには優勝旗・優勝杯を授与する。
- (c)種目別競技 入賞者は原則各部とも参加人数の 1/3 程度とする。但し、参加人数に応じて変更となる場合がある。
- (d)塾対抗競技 入賞は上位 3 塾とする。優勝塾には優勝盾を授与する。
- (5)予選通過者 岩見沢地区部門 1～3 部の上位各 2 名（小・中学生のみ）を予選通過者とし、岩見沢珠算連盟会員生徒には全道大会参加のための旅費を支給する。但し、予選通過者以外で自費による参加を申し出た場合は、全道大会への参加を認める。
- (6)答案記入上の注意 各部とも日本商工会議所主催珠算能力検定試験審査規程に準ずる。なお、コンマについては小学 4 年生以下の部もコンマを有する。